

トップメッセージ

「エネルギーと環境の共生」を目指して 常に新しい技術の開発にチャレンジしながら 持続可能な社会に貢献するグローバルな電力会社として 持続的成長を目指します

2011年3月の東日本大震災を経て1年あまり、わが国の電気事業を取り巻く状況は、原子力発電所の稼働停止が長期化する中で、電力需給逼迫への対応、タイト化する化石エネルギー資源需給への対応、地球環境問題への対応、環境・エネルギー政策ならびに電力制度改革をめぐる政策議論の行方など、不透明性を増しています。

このような不透明な状況下にあるからこそ、私たちJ-POWERグループは常に原点である企業理念「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」に立ち戻るべきと考えています。

「人々の求めるエネルギーを不断に提供する」ために、私たちJ-POWERグループがなすべきことは、第一に電力の安定供給に貢献することです。震災により今なお供給力不足の状況にある東日本

地域はもとより、原子力発電所の稼働停止により需給バランスがタイト化している西日本地域においても、私たちは全国に所在するJ-POWERグループの水力・石炭火力発電所や基幹送電線等の電力設備の機能を十二分に発揮し、電気事業者としての責務を果たしてまいります。

そのうえで、わが国の中期的な電力供給力確保に向けた電力設備の増強として、大間原子力計画、竹原火力リプレイス計画等を一步一步着実に進めてまいります。

建設工事中の大間原子力につきましては、福島第一原子力発電所での事故を真摯に受け止め、より一層の安全強化策を確実に実施するとともに、新しい知見等を常に適切に反映し、地域の皆さまから信頼される安全な発電所づくりに向けて全力を傾注していく覚悟です。

また私たちは、その事業を地球規模で、そして長期的な視点で展開することを目指しており、新興諸国が求める高効率石炭火力等による海外発電事業の推進や、長期的な低炭素化に向けた革新的技術開発への取り組みも、引き続き着実に進めてまいります。

J-POWERグループは、その使命である電力の安定供給をこれまで同様に高い信頼のもとに果たしていくことを通して、日本と世界の持続可能な発展に貢献してまいります。このため、自らの事業基盤を、技術、人財、財務のすべてにわたって、より強固なものとするべく、チャレンジし続けてまいります。

皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2012年7月



取締役社長 北村雅良